

地下茎

10^号

82. 6. 20

「**どこぞが見える**」ということ

授業をやっていると思うことがある。「あ、どこぞが見えない」と。授業が終わったあとと考えると「なんでなんや」「こんなはずやない」と思いあがってみたいもする。

そんなときの授業というのは、後で考えてみると、自分で言いたくないようなコトバを言っているのである。「うるさいぞ」「しゃべるな」「今やっているのは大事なことやぞ。おぼ

えとけよ」とくだらぬことをわめいているのである。たしかに、おもしろくないからさわくのであるし、たいていそうするのである。大事なことを言う。他に大事なしゃべり。テストに出るからか。それでは、むかしきり。では、どうしたら「どこぞが見えてくるか」。今は、ともかく教材をみよう。自分にも見えぬコトおぼしくもない教材で勝負はできぬ。それだからである。(K)

学習会 6月26日(土)

福島高校
午後 化学室

2:00~

「化学入門」 第4章
新生出版 「酸のはたらき」

例会 7月10日(日)

福島高校
午後 2:00~
化学室

○ 一学期の巻返し
夏期、研究会にもおえて...